

法人ニュース 会津

2026新年号 vol.351



<https://www.aizu-ho.or.jp> Mail:info@aizu-ho.or.jp

公益社団法人 会津若松法人会

〒965-0059 会津若松市インター西112

TEL 0242 (22) 5 8 2 1

FAX 0242 (25) 3 3 0 3

発行人 遠 藤 久

編集 広報委員会



公益社団法人 会津若松法人会

会長 遠 藤 久

す。新年あけましておめでとうございま

会員の皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、租税教室の開催をはじめ、多くの事業に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当会の活動の特色として「伝統と革新」の考えのもと、鶴ヶ城や土津神社の清掃とデジタル化推進への取り組みがあります。「デジタル化は広域でさらに有用になる」の考えのもと、全会津のデジタル化の推進を志向し、昨年の1月21日には、会津地区の三法人会主催で「税務行政のDXについて」「デジタル時代の税務調査対応」のテーマでセミナーを開催いたしました。

さらに、12月9日には、当会が呼びかけ人となり会津地区の三法人会の主催、そして三地域の税務署・税理士会・税務関係団体協議会の後援をいただきデジタルインボイス関連のセミナーを開催いた

しました。

定員をオーバーする参加申し込みがあったほか、講師のデジタル庁の加藤企画官の計らいで、セミナーの様子がデジタル庁のホームページに掲載されました。法人会の活動でデジタル庁のホームページに掲載されているのは会津地域だけです。

さて、この原稿は1月4日に完成させましたが、同日「アメリカがベネズエラを攻撃」のニュースが飛び込んできました。中国との関係に緊張が高まるなか、まさかと思う出来事です。法人会の税制改正提言には、過去の反省から、平和を志向する財政法の趣旨に則り「財政規律」

が最初に掲げられています。その趣旨を深く考える時がまいりました。

今後、納税意識の向上と税知識の普及や租税教室の開催、さらには税制改正提言の周知活動に引き続き注力してまいりますので、本年も法人会活動への一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員企業の皆様の益々のご発展とご健勝、そしてご家族の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます、年頭の挨拶とさせていただきます。



会津絵ろうそくまつり

新年のごあいさつ



会津若松税務署長
近藤 拓哉

令和8年の年頭に当たり、謹んで新年の寿ぎを申し上げます。

会津若松法人会並びに会員の皆様には、平素から税務行政の円滑な運営につきまして、深い御理解と多大なる御協力を賜り、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

本年も、皆様との連携・協調を深めてまいりたいと考えておりますので、引き続き、よろしくお願いいたします。

会津若松法人会におかれましては、昨年12月に「中小企業の未来を変える！デジタルインボイス導入と付加価値創出セミナー」を会津地方3法人会合同で開催するなど、事業者のデジタル化について積極的に取り組まれておりますことに、改めて御礼申し上げます。おかげさまで、会津地方におけるデジタル化に向けた機運が更に高まるものと期待をしております。

さて、近年の税務行政を取り巻く環境は、経済社会のグローバル化・デジタル化をはじめとする構造転換に直面しており、税務当局においては、デジタル技術を活用した国税に関する手続や業務の在り方の抜本的な見直しを中心とした税務行政のDX（デジタルトランスフォーメーション）に取り組んでおります。その中でもe-Tax及びキャッシュ

レス納付の利用拡大については、「オンライン利用率引上げに係る基本計画」に定める利用率の目標達成に向けて積極的に取り組むこととしており、引き続き法人税申告における添付書類も含めたe-Tax送信（ALLe-Tax）、源泉所得税などのキャッシュレス納付、納税証明書のオンライン請求の利用拡大、同封いたしました「事業者用デジタル化チェックシート」の公開など、納税者の利便性向上に向けた取組を展開していくこととしておりますので、引き続き、御理解と御協力をお願いいたします。

間もなく、令和7年分の確定申告の時期を迎えます。会員の皆様や従業員の方々が確定申告を行う際は、国税庁HPの「確定申告書作成コーナー」を御利用いただき、スマホとマイナンバーカードを利用した、自宅等からのe-Taxによる申告をお願いいたします。

なお、スマホとマイナンバーカードを利用した申告では、マイナンバーカードの連携による所得控除等のデータ入力の対象が年々拡大するなど、更に利便性が向上しておりますので、ぜひ御利用ください。また、税務署では、2月16日から申告書作成会場をアピオスペースに開設いたします。申告書作成会場は、感染症対策や混雑緩和に向け、来場者数を一定に調整する「入場整理券方式」を導入しておりますので、御留意くださいますようお願いいたします。

結びに、会津若松法人会のますますの御発展と会員企業の御繁栄、並びに、会員企業の御繁栄と会員の皆様の御多幸を心から祈念いたします。新年の御挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

日々の業務を



デジタル化で効率UP!



取引や会計などの業務のデジタル化が進めば・・・

- ✓ 単純ミスを防いで正確性と効率UP!
- ✓ 書類の保存コストDOWN!
- ✓ 経営の高度化!



会計ソフトの導入等でIT導入補助金の利用も!

詳しくはこちらから



国税庁では日々の取引や会計などの、業務のデジタル化促進に向けて取り組んでいます

国税庁
<https://www.nta.go.jp>

PCやスマホで効率よく! キャッシュレス納付!

- ✓ 自宅やオフィスからスマホ・PCで納付可能!
- ✓ 24時間いつでも納付可能!
- ✓ 納付方法が選べて便利!
- ✓ 納付書&現金不要で手間いらず!
- ✓ 簡単&スピーディーな手続で待ち時間なし!



「源泉所得税のキャッシュレス納付体験コーナー」で、実際の画面(e-Tax)を使って、徴収高計算書の作成から、一連の流れを体験できます。

国税庁
<https://www.nta.go.jp>

納税に関する総合案内はQRから



新年のごあいさつ



東北税理士会
会津若松支部長
鈴木 義文

新年明けましておめでとうございます。
年頭にあたり会津若松法人会の皆様に謹んで新年のお祝いを申し上げます。

法人会会員の皆様には、平素から税理士会の運営に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私たち税理士は、税理士法第1条に規定されている「税理士は、税務に関する専門家として、独立した公正な立場において、申告納税制度の理念にそって、納税義務者の信頼にこたえ、租税に関する法令に規定された納税義務の適正な実現を図ることを使命とする。」ことを遵守し、日々研鑽を積み業務に励んでおります。

昨年12月に改正所得税法が施行され、基礎控除額の引上げ、非課税通勤手当の見直し等が行われました。

また、令和8年度税制改正大綱が決定され、法人税では少額減価償却資産の損金算入額が30万円未満から40万円未満に、消費税ではイ

ンボイス制度の経過措置が見直され、本年10月からインボイス発行事業者以外から行った課税仕入れの特例が80%控除から70%控除（改正前は50%）になるなど、実務上の影響が大きい改正が目立っています。

税理士会としても、引き続き会津若松法人会及び会員の皆様方との連携を深め、様々な課題に積極的に取組んでまいりますので、どうぞよろしく願います。

最後になりますが、会津若松法人会の益々のご発展と会員皆様の事業のご繁栄を心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



東北税理士会会津若松支部から 「税の無料相談会」 開催のお知らせ

東北税理士会会津若松支部では、社会貢献活動の一環として、2月23日（税理士記念日）に、税理士による「税の無料相談会」を開催することとしております。

相続税や贈与税、土地や建物の譲渡に係る税、消費税、その他確定申告に関わる税などのご質問・ご相談をお受けいたしますのでお気軽にご利用ください。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止等の観点から「電話予約による相談会」開催のため、相談をご希望される方は「電話による事前予約」が必要です。

開催日時 令和8年2月23日(月曜日、祝日) 午前10時～午後3時45分まで

開催場所 アピオスペース2階「税の無料相談会」(会津若松市インター西90)

予約受付 ☎050-2018-1150(東北税理士会電話予約受付センター)

～税金について困ったときは、お近くの税理士に相談しましょう～

会津若松税務署からのお知らせ

○確定申告会場について

- **開設場所**：アピオスペース 1 階（会津若松市インター西 90 番地）
- **開設期間**：令和 8 年 2 月 16 日（月）～ 3 月 16 日（月）《土、日、祝日を除く》
- **開設時間**：午前 9 時 15 分から午後 4 時
- ※ 会場内の混雑緩和のため、入場には「入場整理券」が必要です。
入場整理券は、当日会場で配付するもの（配付状況に応じて、後日の来場をお願いすることがあります。）と、LINE から事前に発行するもの（事前発行可能期間が設けられています。）があります。
- ※ 会場では、ご自身のスマホを使用して確定申告書を作成していただきますので、次のものをご持参ください。
 - ・スマホ
 - ・マイナンバーカード（発行時に設定した 2 つのパスワードを含む。）
- ※ 上記開設期間中は、税務署には確定申告書作成会場は設置しておりません。

○電話相談センター

確定申告書作成に関する一般的なご相談は、「確定申告電話相談センター」でお答えします。

- ・ 電話番号 0570-00-5901（国税相談専用ダイヤル）
（音声案内に従って「0 番」を選択してください。）
- ・ 受付期間 令和 8 年 1 月 5 日（月）～ 3 月 16 日（月）
《土、日、祝日を除きますが、3 月 1 日（日）に限り受付します。》
- ・ 受付時間 午前 8 時 30 分から午後 5 時

令和 7 年分

確定申告

スマホとマイナンバーカードで！

自宅から e-Tax で完結！

24時間
オンラインで
申告可能！

※メンテナンス時間を除く

74%の方が
e-Tax を利用

① e-Tax に必要なもの

マイナンバーカードとスマホ※1 のみ

② 申告書の作成

国税庁 HP「確定申告書等作成コーナー」なら、自動計算で申告書が完成！マイナポータル連携を利用すれば、給与・年金・医療費・ふるさと納税などの情報を申告書に自動入力！

③ 申告書の提出

作成した申告書はそのまま自宅から e-Tax で送信！添付書類※2 の提出も不要で手間いらず！

④ 申告後

申告内容をいつでも受信通知から確認可能！還付金の早期還付！

※1 マイナンバーカード読取対応のスマホに限ります。

事前にスマホへマイナポータルアプリのインストールを行ってください。

※2 一部の書類を除きます。



マイナンバーカードおよび電子証明書の有効期限にご注意ください。
←詳細は、デジタル庁ホームページをご確認ください。

申告期限

所得税および復興特別所得税・贈与税
令和 8 年 3 月 16 日（月）まで

消費税および地方消費税（個人事業者）
令和 8 年 3 月 31 日（火）まで

e-Tax で確定申告を
される方へのサポート



申告書の作成
手順を動画で
ご案内してい
ます。



確定申告に関する
ご質問にチャット
ボットがお答えし
ます。



所得税等の確定申告のご相談および申告書の受付期間

令和 8 年 2 月 16 日（月）から 同年 3 月 16 日（月）まで

※還付申告書は令和 8 年 2 月 13 日（金）以前でも提出できます



確定申告会場での相談を希望される方は、
「国税庁 LINE 公式アカウント」から
オンライン事前予約の手続きをお願いします。



詳しくは、国税庁
HP をご覧ください。

確定申告特集





全国納税貯蓄組合連合会&国税庁共催

令和7年度

中学生の「税についての作文」入賞作品



公益財団法人全国法人会連合会長賞

「税で、生きる。」

会津若松市立大戸中学校

3年 鈴木 渚紗

「今日から家族と離れて生活することに初めて気付きました。」

とが決まりました。」と突然言われ、私は小学校三年生の時に児童養護施設に入ることになりました。児童養護施設とは、保護者のいない児童や、虐待されている児童など、家庭での養育が困難な子どもたちが、安定した生活環境で生活できるよう支援する施設です。私の生活している児童養護施設では、朝昼晩栄養の整った食事ができたり、衣類を購入することができたりします。毎月おこづかいをもらい、買い物に行くこともできます。学校に通うこともでき、安定した生活が保障されています。

ある日私は、このような生活がどこからのお金でできているのか気になり、調べてみました。すると、私たちの暮らしは「税金」によって支えられ、前向きに払っていききたいと思っています。

「税金とは何か」この問いが、私に税の考え方を支えるきっかけを与えてくれた。税金を支払うことは義務であり、当たり前であるがその税金は当り前ではない日々を作っていると思います。税金は単なるお金の循環ではなく、人と人をつなぐ輪であると感じました。自分が誰かの払った税金で救われたように、大人になったとき自分が税金を払って誰かを救う立場になれることをほこりに思います。税金を払うことに前向きな世界になることを願っています。



左から近藤拓弥税務署長、鈴木渚紗さん、遠藤久法人会会長

【中学生の「税についての作文」とは】

全国納税貯蓄組合連合会及び国税庁では、子供たちの租税教育の推進の一環として、毎年、全国の中学校の御協力を得て中学生の「税についての作文」の募集を行っています。

これは、将来を担う中学生の皆さんに、税に関することをテーマとして作文を書くことを通じて税に対する関心を持っていただき、また、税について正しい理解を深めていただくことを目的として、昭和42年度から実施しているものです。

令和7年度は、全国から426,388編（仙台国税局管内14,445編）の応募がありました。

（後援）一般財団法人大蔵財務協会、日本税理士会連合会、公益財団法人全国法人会総連合

【納税貯蓄組合とは】

納税貯蓄組合法に基づく団体で、納税資金の備蓄による各種税金の円滑な納付を目的として、国税・県税・市税等の納税者で組織された団体です。

行動する法人会



— 令和8年度税制改正に関する提言 —

会津若松法人会では、税のオピニオンリーダーたる経営者の団体として公平で健全な税制の実現を目指して、税の提言活動を行っています。

『令和8年度税制改正に関する提言』の実現を強く求め、遠藤久会長と吉原裕二税制委員長は11月27日、室井照平会津若松市長らへ提言活動を行いました。（提言内容は同封の「ふくしま県法連ニュース」または全法連ホームページ「税の提言活動」のコーナーをご覧ください <https://www.zenkokuhojinkai.or.jp>）



全国大会「高知大会」で税制改正提言報告をする
飯野全法連税制委員長



室井市長（右）へ説明する遠藤会長（中央）と
吉原委員長（左）

会津若松市

市長 室井 照平 氏



左から吉原委員長、遠藤会長、室井市長

会津若松市議会

議長 清川 雅史 氏



左から古川副議長、清川議長、遠藤会長、吉原委員長

小熊慎司衆議院議員

秘書 廣岡 久 氏



左から廣岡秘書、遠藤会長、吉原委員長

謹賀新年



「経営者大型総合保障制度」を通じて、
引き続き、みなさまに大きな安心を
お届けしてまいります。
本年もよろしくお願い申し上げます。



DJIDO 大同生命保険株式会社

AIG AIG損害保険株式会社

郡山支社 会津営業所 /
福島県会津若松市大町 2-14-26（長谷川ビル 3F） TEL 0242-32-2442

郡山支店 /
福島県郡山市虎丸町 24-8（AIG 郡山ビル 3F） TEL 024-933-6211



易学研究者 真田泰一

2026年。新たな年はどうなるのでしょうか。

「干支の活学」を著した陽明学の泰斗である安岡正篤氏は、干と支を組み合わせた60の範疇に啓示され、生命あるいは変化の過程を系統的に分類したものと説いています。

氏は、前年の干である「乙（きのと）」は外の寒気の抵抗で曲折し、支の「巳」は冬眠していた蛇が地上に這い出そうとする形で、旧体制を打破して新しい創造に努めることを意味していると説いています。

今年の丙（ひのえ）は、新しい陽気となり発展することを意味しますが、同時に反対勢力の高まりから陽気が既に隠れ始めることも意味しています。

また、「午（うま）」は反対勢力の高まりを示し、

これをどう処理するかによって運命が一変するとしています。

一見、大変に栄えているように見えても、下からの突き上げに遭い、これをどう処理するかで今後が変わっていくことの意味を含んでいると指摘しています。

まさに、陰と陽とが激突する年ともなりそうです。これをうまく処理し損なうと、2027年の「丁未（てい・び）」は暗黒に至ると、氏は指摘しています。

さて、今年がどうなるかを占う上で、60年前の1966年の丙午（ひのえ・うま）に何があつたのか、過去の史実を紐解くことでヒントになるものと思われま

す。まず、日本の総人口が60年前に1億人を突破した年となりました。以来、人口は増え続けたものの、20

10年をピークに減少に転じ、2050年には人口が1億人を割り込むと予想されています。今後、人口減少が続けば、社会保障などの現役世代の負担が増えていきます。

現在、税と合わせた国民負担率は5割近くになっており、高齢者への社会保障をはじめ財政などへの改革が迫られていくことは必至な事態と思われる。

また、人口減少は地方の疲弊を招き、生産力をカバーするための外国人流入問題への道筋がつけられていくことが見込まれます。

また、1966年には政界における黒い霧事件が発生しています。その2年前の1964年に起きた政治資金法違反問題を引きずっており、今日の裏金問題と酷似しています。

60年前も現在も国民の政治不信は高まっており、今後これをどう解決していくのが求められています。

そして、1965年の終わりから1970年半ばまでは戦後最長のいざなぎ景

気という高度経済成長時代でした。第二次世界大戦後初の建設国債の発行によって景気が回復し始めました。

いざなぎ景気という名称は、日本神話に由来し、神武景気や岩戸景気を上回る好況という意味を込めて名付けられ、不況から脱出していったのです。現在は、積み上がった赤字国債は国内総生産（GDP）の2倍以上の1300兆円まで膨

れ上がっています。ここにかけて長期金利は上昇し、国債費が財政を圧迫する状況などに陥っています。速やかな税・財政の改革が求められ、現下の不況脱出の力ギとなっています。

まさに今、先送りできない国難を解決すべき年を迎え、陽明学で指摘している「陰と陽」のぶつかり合いが生じかねない年ともなりそうです。

解決に向けてないことには、2027年の「丁未」には氏が指摘する「暗黒」を迎えることになりそうです。で、為政者には大いに解決への期待を寄せたいもので

す。

丙午（ひのえ・うま）という、厄介な迷信があります。「丙午の年に生まれた女性は気性が荒く、夫の寿命を縮める」というもので、どうも丙午の年生まれの八百屋お七の件や明治時代に丙午世代の女性に自殺者が多く出たことが起因しているようです。

それを気にするあまり、丙午の年の出生率が減少し、先の丙午の1966年には出生率は前年比で約25%も落ち込んだようです。少子化が進む日本にとっては困った迷信であり、迷信であることをしっかりと認識しておきたいものです。

また、60年前にはビートルズが初来日し、カラーテレビ・クーラー・自動車の「新・三種の神器」として広く国民に浸透した年でもありました。沸き立つ生活や潤いのある文化生活が送れるよう、そして開ける年「丁未」の暗黒を迎えないためにも、今ある課題を解決する年であることを心から願いたいものです。

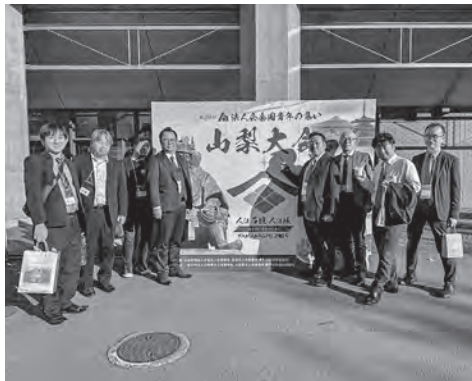


10/23 県青連協・県女連協「二本松大会」(陽日の郷 あづま館)
右は次年度の県青連協「会津大会」を PR



12/9 デジタルインボイス導入と付加価値創出セミナー
(アピオスペース)

10/14 猪苗代支部ゴルフ大会
(ボナリ高原ゴルフクラブ)



12/11 決算説明会
(法人会会議室)

11/21 全国青年の集い「山梨大会」
郡山法人会の皆さんと
(アイメッセ山梨)

12/1 経理研究部会
マイナ保険証に関する勉強会
(法人会会議室)



道の駅
あいづ
湯川・会津坂下



謹賀新年

本年もよろしくお願い申し上げます

株式会社 湯川会津坂下

河沼郡湯川村大字佐野目字五丁ノ目 78-1

☎0241-27-8853

【営業時間】 9:00～18:00

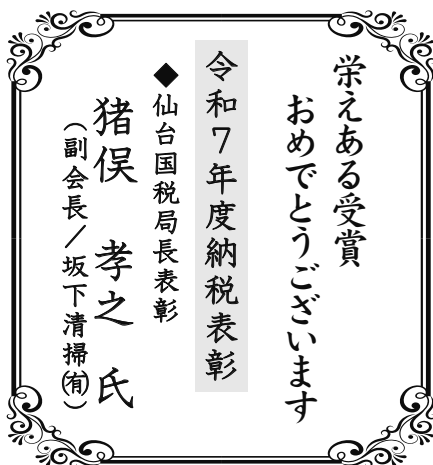
※レストラン・会津食のブランド館は異なる



11/1 第15回親睦研修旅行（新潟方面）



10/26 青年部会 1億円体験&税金クイズ(ザベリオバザー)

12/5 経理研究部会・青年部会
合同年忘れ会
(ホテルニューパレス)11/10・11 年末調整説明会
(アピオスペース)10/29 経理研究部会
年末調整実践セミナー
(ホテルニューパレス)11/15 鶴ヶ城清掃落ち葉拾い
清掃参加10/8 第3回理事会・福利厚生制度
推進連絡協議会（萬花楼）THE BF CAMERA
MADE IN AIZU, JAPAN

SIGMA

中小企業は弱者ではない！

強みを
活かせ！

経営評論家
疋田 文明

中小企業は、大企業に比べて弱者と見られるようだが、筆者はそうは思わない。資金量、従業員数、売上高、利益の総額では、大企業に負けてはいても、中小企業の強みを活かせば、中身（一人当たりの生産性）で勝てると考えている。

スピードで勝つ

中小企業の強みは、意思

決定と行動の速さにある。変化の激しい時代には、スピードディーに新しい商品なりサービスを提供することが大きな武器になる。いまは規模の大きさは競争優位性をもたらせてはくれない。

戦略研究家のチェット・リチャーズは、「ビジネスでも敵に先んじる1分が勝利を呼び込む。スピードが最大の武器。スピードを有

効活用することにより、規模や技術などの敵側の物理的な優位性を相殺し、最終的には無力化できる。量的優位性は勝利の優位性にならない」と指摘しているが、まさにその通りだと思う。

大企業の場合には、何か新しいことを実行しようと思えば、一般的には稟議書を書いて何人かの合意を得る必要があるが、中小企業の場合は、経営者が決断すれば、即実行に移すことができる。

この強みを最大限に活かすことができれば、大企業を恐れる必要はない。

知恵で勝つ

中小企業は大企業に知恵で勝てばいい。

資金に余裕のある大企業は、問題に直面したときにお金で解決しようとする。ところが、資金力に劣る中小企業は、必然的に知恵で難局を乗り越えるしかない。

紙幅の都合で詳しい事例は紹介できないが、私の取材経験からすれば、仕事上の知恵はいくらでも出てくる。中小企業は、知恵を武器に戦えば、大企業に負けることはない。

とはいっても、大企業にも知恵を出せる社員は多くいるし、最近では、資金量に物を言わせて高度なAIを導入して経営に活用する大企業も増えてきた。

アイデアは、頭の中の知識と知識が組み合わせられて出てくるという。

AIの場合には、ウェブ上の情報を組み合わせて、問いかければ瞬時に答えを出してくれる。質問を繰り返すことで、最適解に近いものが出てくるとされている。

最近では、役員会にAIを参加させ、行き詰まったときに、同席させているAIにアドバイスを求める大企業も複数あると聞く。

そこで、中小企業が考えるべきは、大企業の社員やAIには思いもつかないよ

うなアイデアを出すことになってくる。

では、どうすればそれが可能になるのか？ 参考になるのは、弱小の航空会社だったサウスウエスト航空（SWA）をアメリカでも有数の企業に育てあげたケレハールの以下の言葉だ。

「従業員が学ぶ意欲を失っていたら画期的な戦略は生まれず、資金も資源も豊富な他社と競い合うことはできなかった。生涯学習の意欲に燃える従業員の、知識と想像力を磨いている。そういう従業員のお陰でSWAは、常に新しい方法を考え、業務の簡素化やコスト削減、顧客サービスの向上に取り組める」。

ケレハールのこの言葉に、筆者は、中小企業が知恵で勝ち残る術が説かれていると思っている。従業員が知恵を出すためには、「学習意欲」が不可欠ということだ。なぜなら、知恵は複数の知識が合わさって出てくるだけに、より多くの知識

を頭の中に蓄積しておく必要があるからだ。

いまひとつ理解しておいてほしいのは、知識には大きく分けて論理的知識と実践的知識があるということ。

AIには思いつかないアイデアを生み出すには、従業員個々が持つ実践的知識が何より重要になってくる。

中小企業の従業員のほとんどは現場で仕事に取り組んでいるが、そこで得た自分しか知り得ない知識を活用すればいいのだ。

大企業の多くは、中小企業を下請け的に使っているので、必然的に現場での実践的知識は乏しいと、筆者は考えている。

ゆえに、知恵で中小企業は大企業に勝つことができるのだ。

ただし、従業員に知恵を出してもらうためには、一つ条件がある。それは上司が部下に指示・命令を出さないこと。

なぜなら、日常的に、上司に指示されて仕事をして

いる従業員は、自ら考えることをやらなくなってしまうからだ。

チームプレーで勝つ

チームで仕事に取り組めば、新しい商品なりサービスをスピーディーに提供することができる。

筆者は、チームプレーでは中小企業のほうが有利だと考えている。

チームプレーは、本来日本人が得意とするもので、大企業も中小企業も関係ない指摘されるかもしれないが、それは違う。

日米双方でビジネスを展開する齋藤ウィリアム浩幸は、「日本には人の集まりであるグループはあるが、目的達成のために熱意を持って助け合うチームがない。

アメリカは個人主義の国といわれるが、同時にチームの国である。個人としていかに優秀でも、チームメンバーとして能力が発揮できなければ、評価されるのは

難しい」と指摘しているが、その通りだとうなずかざるを得ない。

日米の企業間格差をみれば、日本の大企業はチームプレーが不得手だといっても間違いではないだろう。とはいってもチームプレーを重視する大企業も増えてきている。

しかし、集団で仕事をすると、「社会的手抜き」が増えるという知見がある。社会的手抜きとは、集団の構成員が増えれば増えるほど、単独のときよりも努力の量が低下することを意味している。

簡潔に言えば、メンバーが多いと手抜きするやつが増えてくるということだ。

そうした視点から考えれば、チームプレーでは中小企業の方に分があるといえる。

チームプレーの研究が進むアメリカでは、「心理的安全性」の必要性が説かれているが、そんな難しいことよりも、中小企業がチー

ムワークを考える際には、第一次南極越冬隊長を務めた西堀栄三郎の次の言葉が何より参考になる。

「言いたいことも言わず、ご無理ごもつともでやってるのは、『決して和ではない』。言いたいことを大いに言いながら、お互いの考えや意見、個性というものを尊重して、最終的には共通の目的に最も近いものを取り上げていく。そういった態度こそが本当の『和』の精神でなかるうか。個人は個人で自分の個性をしっかり保持し、他と調和しながら互いに組み合っていく。それがチームワークの根本だと思っている」

日本企業の多くがチームプレーと言いながら、その成果を手にはできないのは、もめずに仲良くすることが和だと思っているところにあると筆者は考えている。

戦略・戦術で勝つ

大企業対策を考えるに際

しては、戦略として、戦うのか戦わないのかを決める必要がある。

戦わないと決めれば、大企業の進出してこない市場に出ればいい。

例えば、製造業なら下請けで培った技術力を活かして、自社製品を生産するようになればいい。

戦うと決めた場合には、戦術として、正面からぶつかるのかどうかを決める必要がある。正面から戦う場合には、大企業の弱みをつけばいい。

例えば、小売業で正面衝突するのなら、大がセルフサービスなら中小は、きめ細かいサービスで戦うことだ。

戦うと決めても、最初は正面衝突を避ける戦術もある。創業期の「しまむら」は、大手量販店と競合しない5千世帯程度の商圏に店舗展開していつて成長を手に入れている。

元気な中小企業が増えることを心から願っている。



会津若松市馬場町二番十六号
電話(0242)221-7555
FAX(0242)221-8966

会津信用金庫
理事長 添田英幸

謹賀新年
会津商工信用組合
理事長 菊地武
〒965-0037
会津若松市中央一丁目一番三〇号
電話(0242)221-6565
FAX(0242)221-7008

OLYMPUS

代表取締役社長

蒲山 智昭

会津オリンパス株式会社

〒965-8520 福島県会津若松市飯寺北3-1-1
Tel:0242-28-2111 Fax:0242-28-2117
https://www.aizu.olympus.co.jp/

TAMURA



代表取締役社長

笠間 寿次

株式会社 会津タムラ製作所

〒969-6103 福島県大沼郡会津美里町字上村北27-2
TEL 0242-56-2911 FAX 0242-56-3730

URL: http://www.aizutamura.co.jp/
URL: http://www.tamura-ss.co.jp/



代表取締役社長

四家 邦博

会津自動車工業株式会社

〒965-0005
会津若松市一某町大字亀賀字郷之原二二四
電話(0242)241-2721(代)
FAX(0242)241-2723

迎春

皆様のご健康と
御多幸を心より
お祈り申し上げます

AIZU TRANSPORTATION
運 會津通運

URL: http://aizu-tsuumun.co.jp/

代表取締役 渡邊 拓也

e-mail: takuya_watanabe@aizu-tsuumun.co.jp

會津通運株式会社

〒965-0052 福島県会津若松市町北町大字始字見島83番地
TEL 0242-22-4373 FAX 0242-25-0611

会津天竺
SINCE 18711871-2021
ADVANCE
150th

代表取締役社長

満田 盛護

Mitsuta Seigo

会津天竺醸造株式会社

■本社
〒965-8511 会津若松市大町1丁目1番24号

URL: http://www.aizu-tenpo.co.jp

早戸温泉・つるの湯

早戸温泉つるの湯企業組合
代表理事

佐久間 源一郎



源泉かけ流し・天然薬湯100%
千二百年の名湯が日帰り温泉
湯治施設、食堂も完備
飲食療養にも適合しました

〒969-7406
福島県大沼郡三島町早戸字湯ノ平888
TEL 0241-52-3324 FAX 0241-52-3324

会津土建株式会社
代表取締役社長

菅家 忠洋

〒965-0073
福島県会津若松市連手町五三六
電話(0242)261-4500
FAX(0242)291-5900

i-Construction

昭和13年創業 福島県知事(17)第50043号

株式会社 会津不動産商会
Aizu Real Estate Agent Inc.代表取締役 伊東 邦彦
Itoh Kunihiro

〒965-0877 福島県会津若松市西栄町8番34号(英高校正門前)
TEL(0242)27-0318 FAX(0242)27-0343
携帯 090-1936-8789 E-mail: area110@nifty.com

民間車検場

自治労、教職員共済、全労済 指定工場

(有)五十嵐自動車整備工場

代表取締役 五十嵐 正義

福島県耶麻郡猪苗代町大字千代田字下ウケ33-1

TEL 0242-62-3325

自宅 62-2325

FAX 0242-62-3045



株式会社 会和工務店

福島県知事許可 特・般 28 第 15628 号

代表取締役

内 川 健 一

〒965-0102 福島県会津若松市真宮新町北 1 丁目 7 番地
TEL 0242-58-3388(代表) FAX 0242-58-3390

社員の和 お客様との和 地域社会との和 を大切にします

伝承された日本の美と心を伝える



仏壇・仏具・位牌の総合メーカー

株式会社 小野 漆器店

代表取締役 小 野 隆 市

本 社 福島県会津若松市インター西56番地の4
☎965-0059 電 話 (0242) 24-4040(代)
FAX (0242) 37-2862

経営革新は自己革新から

TKCコンピュータ会計

有限会社 遠藤総合経営センター

代表取締役 遠 藤 久

事務所 〒965-0046 福島県会津若松市八日町2番15号
TEL (0242) 32-1960(代) FAX (0242) 32-4644
E-mail: e@tkcnf.or.jp
URL: http://www.tkcnet.com/endouzeirishi

金子建設株式会社

代表取締役 金 子 保 彦

本 社 福島県大沼郡昭和村大字喰丸字松木平727
TEL (0241) 57-2211
FAX (0241) 57-2213
E-mail: yasuhiko@sw-kaneko.com

経営革新は自己革新から

TKCコンピュータ会計

遠藤久税理士事務所

税理士 遠 藤 久

税理士 遠 藤 博 人

事務所 〒965-0046 福島県会津若松市八日町2番15号
TEL (0242) 32-1960(代) FAX (0242) 32-4644
E-mail: e@tkcnf.or.jp
URL: http://www.tkcnet.com/endouzeirishi~大正13年創業~
小島工業株式会社

代表取締役 小 島 茂 雄

本社・工場 〒969-6386 福島県河沼郡会津坂下町坂本字道坂ノ上900
TEL: 0242-83-4020
FAX: 0242-83-1124
携帯電話: 080-1807-8335
E-mail: s-kojima@kojimakogyo.jp
U R L: http://www.kojimakogyo.jp/
関東営業所 〒332-0035 埼玉県川口市西青木2-8-28
TEL: 048-497-1350
FAX: 048-497-1530

税理士法人キヨル

代表社員 / 税理士

鈴木 義文

SUZUKI Yoshifumi

〒965-0053
福島県会津若松市町北町上荒久田字鈴木152
電話 (0242) 23-7145 携帯 090-9039-5321
FAX (0242) 23-7146 E-mail gibun-5@kjc.biglobe.ne.jp

ISO9001 ISO4001 認証取得



佐久間建設工業株式会社

〒969-7406

福島県大沼郡三島町大字早戸字湯ノ平687番地
Phone: 0241-52-3111/Fax: 0241-52-3320

E-mail: iwao-s@sakuma-k.co.jp

URL: https://www.sakuma-ci.com

代表取締役 社長
佐藤 岩男
技術士 (建設部門)

税理士法人キヨル

齋藤事務所

社員 / 税理士

齋 藤 章 一

SAITO Shoichi

〒969-6533
福島県河沼郡会津坂下町字台ノ下751-4
電話 (0242) 85-6378 FAX (0242) 85-6379
携帯 090-4559-6268



鶴城みそ・キンタカサゴしょうゆ

高砂屋商店

代表社員 桑 原 勇

〒969-6539
福島県河沼郡会津坂下町宇古市乙141
TEL (0242) 83-2032
FAX (0242) 83-0424
URL <http://www.kintakasago.com/>
E-mail isamu@kintakasago.com



株式会社 佐藤電設

SATOH

電設・電気工事・電気設備

代表取締役

佐藤 春幸

Haruyuki Sato

【保有資格】

1級電気工事施工管理技士
1級管工事施工管理技士
1級土木施工管理技士

本社

〒969-6551

福島県河沼郡会津坂下町字館ノ下103番地1

TEL (0242) 83-0043 (代表)

FAX (0242) 83-0086

E-mail wildsato7.5@sato-densetsu.co.jp



土田中央鉱産株式会社

TSUCHIDA

砕石・砂利・洗砂・山砂販売

代表取締役 渡 部 浩

〒969-6503
福島県河沼郡会津坂下町大字宇内字中子山4007番地
TEL 0242 (83) 2271
FAX 0242 (83) 2282



TAKEDA

General Hospital

- 竹田総合病院
- 地域医療連携病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域周産期母子医療センター
- 地域リハビリテーション支援センター
- 臨床研修指定病院
- 日本医療機能評価機構認定
- 山鹿クリニック
- 芦ノ牧温泉病院
- 介護老人保健施設エミネス芦ノ牧
- 介護福祉本部
- 竹田看護専門学校

一般財団法人 竹田健康財団
理事長

東京慈恵会医科大学 名誉教授

浅 野 晃 司

ASANO KOJI

一般財団法人 竹田健康財団

〒965-8585

福島県会津若松市山鹿町3-27

Phone: 0242-27-5511 Fax: 0242-27-5670

E-mail: asano@takeda.or.jp

URL: <http://www.takeda.or.jp>



株式会社 トコム

代表取締役社長

室 井 英 樹

Hideki Muroi

●株式会社トコム

〒965-0009

会津若松市八角町1番23号

TEL: 0242-24-6792 (代表)

FAX: 0242-32-5268

URL: <http://www.waizu.ne.jp/tocom>

E-mail: hideki_muroi@tocom-gw.waizu.ne.jp

●株式会社トコム 会津本社 開発事業部

TEL: 0242-39-2510

●株式会社トコム 会津本社 教育事業部

TEL: 0242-32-0242 FAX: 0242-32-5268

●株式会社トコム 東京支店

TEL: 042-645-2398

TSC グループ

代表取締役
社 長

田 崎 幸 男

トーホクサービス(株) (株)トーホク
(株)OFFICE TASAKI (株)TSC
L&Bトーホクビル

NZR 株式会社 野尻金属



エコアクション21

認証登録番号0002522

代表取締役

社長 野 尻 勝 志

本社・会津事業所 〒969-6207 福島県大沼郡会津美里町字宮里21
TEL 0242-55-0071 FAX 0242-55-0072
川崎事業所 〒210-0854 神奈川県川崎市川崎区浅野町6-4
TEL 044-333-1105 FAX 044-355-9958
<http://www.nzr.co.jp>



この名刺は間接材を活用しております。



司法書士法人 ほかむら

司法書士

中 村 達 也

司法書士

中 村 祥 平

TEL 0242-28-2187 (事務所)



何か困ったことがあったら、まずはお電話下さい。 ☎ 0120-454-527



Rhythm & Balance

代表取締役

星 賢 一

Kenichi Hoshi

坂下電子光学株式会社

■本社工場 〒969-6541 福島県河沼郡会津坂下町字四十石348-1
TEL 0242-83-3821 FAX 0242-83-4778
E-mail: kenhoshi@bangedenshi.jp <http://bangedenshi.jp>



代表取締役社長

新 井 田 傳

Tsutaе Niida

花春酒造株式会社

〒965-0065

福島県会津若松市神指町大字中四合字小見前24番地の1

TEL 0242-22-0022

FAX 0242-37-2100

URL: <http://www.hanaharu.co.jp>

E-mail: hanaharu@hanaharu.co.jp



株式会社 マコト精機

冷間ロール成形機および付帯設備の設計製作
機械及び電気制御の設計製作、メンテナンス

代表取締役

古川 信吾

福島県会津若松市河東町広田字塩新237番地
〒969-3471 TEL (0242) 75-2828(代)
FAX (0242) 75-3302(営業・技術)
URL: <https://www.makotoseiki.co.jp>
E-mail: furukawa-e@makotoseiki.co.jp



福島情報機器株式会社

<http://www.fjk.gr.jp>



代表取締役 社長

坂田 敦志

携帯: 090-4040-3775 Mail: a-sakata@fjk.gr.jp

〒965-0846

福島県会津若松市門田町大字飯寺字村東 289-26
TEL: 0242-26-8888 FAX: 0242-37-2882

御社に活きる ITソリューションをご提案します。



Maruka Aizu
Fruits and Vegetables

代表取締役社長

渡部 稔

Minoru Watanabe

これからも、会津で刻みたい笑顔の歩み。

丸果会津青果株式会社

会津若松市公設地方卸売市場

〒965-0006 会津若松市一箕町鶴賀字船ヶ森東 480



さすけねえ

有限会社 マルイ塗装

知事許可(般-4)第20500号
(一社)日本塗装工業会 会員
福島県塗装協会 会員

建築塗装・鋼構造物塗装・建築改修工事・区画線・標識・交通安全施設

代表取締役 伊藤 正治



事務所

〒965-0001 会津若松市一箕町松長一丁目17-60

TEL (0242) 32-0017 FAX (0242) 32-1701

携帯 090-5351-4468

E-mail: masaharu-i@marui-paint.com

URL: <http://marui-paint.com>

「生きる」を創る。

Aflac

アフラック募集代理店 公式アカウント

マルトミ商事株式会社

代表取締役

高橋 敢

SUSUMU TAKAHASHI

〒965-0878 福島県会津若松市中町2番85号

TEL 0242(26)5511 FAX(26)5512

フリーダイヤル 0120-157013

E-mail: ganhoken@marutomi.co.jp

携帯 070-5321-5514



山本商事株式会社

代表取締役
社長

山本 真一

〒965-0059

本社 会津若松市インター西29番地

TEL (0242) 24-4561(代)

FAX (0242) 25-0956

E-mail: shinichi-yamamoto@ysa.co.jp



取締役会長

天野 俊彦



赤べこ会員の地
会津柳津町

柳津測量設計株式会社

一般社団法人 福島県測量設計業協会 会員

本社 〒969-7209 福島県河沼郡柳津町大字越八字下平22

電話 (0241) 42-3387番

FAX (0241) 42-3430番

Eメール: info@yanasoku.co.jp

URL: <http://www.yanasoku.co.jp/>

公益社団法人 会津若松法人会

経理研究部会
部会長

小柴 繁徳

青年部会
代表世話人

坂田 敦志

女性部会
部長

土屋 みよ子



発展と地域社会のために。

Yumita 株式会社 弓田建設



代表取締役 弓田 八平

本社 〒965-0057 会津若松市町北町大字藤室字藤室721-1

TEL. 0242-32-0311 FAX. 0242-24-0087

郡山営業所 〒963-8833 郡山市香久池2丁目10-13

TEL. 024-973-8355 FAX. 024-973-8356

URL: <https://www.yumita.co.jp>

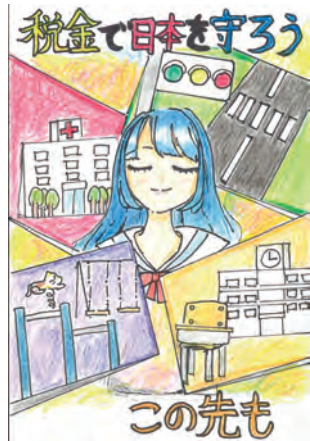
第18回 税に関する絵はがきコンクール 入賞作品

会津若松税務署長賞



永和小 鈴木 柚乃

女性部会長賞



永和小 平塚 結衣

会津若松法人会長賞



神指小 林 桃々子

入賞
県女連協特別賞



猪苗代第二小 穴澤 陽向

入賞



松長小 小泉 糸都

入賞



かねやま小 五十嵐 理奈

青年部会代表世話人賞



松長小 宇月 穂華

入賞



鶴城小 土橋 世佳

入賞



神指小 諏訪 陽菜美

入賞



小金井小 諏佐 芽依



女性部会では法人会事務局において11月5日、第18回税に関する絵はがきコンクールの一次選考会を開きました。

同コンクールは次世代を担う子どもたちに税金について理解と関心を深めてもらおうと毎年実施しており、会津若松税務署管内の小学校20校から501通の応募がありました。

会津大学短期大学部デザイン情報コースの北本雅久准教授が選考委員長を務め、会津若松税務署の近藤拓弥署長、土屋みよ子女性部会長らが審査し、税務署長賞などの入賞10作品と佳作30作品を選出しました。(佳作は会津若松法人会ホームページに掲載しています)